

美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略(案骨子)

総合戦略(2015~2019年度の5か年)

戦略体系(成果指標、2020年)

戦略

「命」を守り、日本一「安全・安心」な県土を築く
 ◆ 想定される大規模地震・津波による犠牲者 8割減少

- 2 誰もが活躍できる、安定した雇用を創出する
 - ◆ 就業者数 8千人増加
 - ◆ 1人当たり県民所得 380万円以上
 - ◆ 県内総生産(名目) 18.5兆円以上

3 “ふじのくに”ならではの魅力ある暮らしを提供し、新しい人の流れをつくる

- ◆ 人口の社会移動 転入超過
- ◆ 静岡県が住みよみどころと取っている人の割合 80%
- ◆ 「文・武・芸」のいずれかの分野において自己を磨く努力をしている人の割合 80%
- ◆ 健康寿命の延伸
平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 (H22) 男性71.68歳、女性75.32歳

- 4 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる
 - ◆ 合計特殊出生率「2」
 - ◆ 「自分の住んでいるまちが子どもを生み、育てやすいところ」と感じている人の割合 80%

- 5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
 - ◆ 「地域の絆や支え合いの仕組みが形成されている」と感じている人の割合 80%
 - ◆ 5つの魅力ある地域圏の形成
・自分の住んでいる地域が住みよみどころと思う人の割合 50%
 - ・各地域圏の社会移動 転入超過

長期人口ビジョン

中長期展望(2060年を視野)

美しく、強く、しなやかな
 「静岡型」地方創生の推進

- 人々を惹きつけ憧れを呼び、日本の理想郷を創る
- 人口減少克服・地方創生の先導役を担い、静岡型で挑む

<人口減少克服に向けた戦略>
 ◎人口減少の「抑制」戦略

面から取組による好循環の確立

◎人口減少社会への「適応」戦略

<目指すべき将来の方向>

- ◎子どもを2人以上持ちたいとする希望をかなえる
- ◎東京圏への一種集中に歯止めを掛ける
- ◎日本一「安全・安心」な県土を築く

●人口の将来展望

<本県人口の長期見通し>
 社会保障人口問題研究所推計ベース
 ○人口 2060年 238万7千人

◎オール静岡の取組で未来を変える

- ◆ 合計特殊出生率「2」の早期実現
・2020年 2.07
- ◆ 転出入均衡の早期達成、転入超過化
・2020年 均衡

<目指すべき姿>

◎2060年 300万人程度の人口を確保

戦略の柱・施策の方向

主要施策

主要重要業績評価指標(KPI)

1-1 安全・安心な地域づくり	戦略の柱・施策の方向	主要重要業績評価指標(KPI)
(1) 防災先進県としての国土強靱化の推進 防災・減災と地域成長の両立を目指す地域づくり	大規模地震、津波被害や火山災害対策等の推進 津波避難施設空白地域を解消した市町の割合 71% など 内陸のフロンティアを拓く取組を実施する市町数 35市町 など	

2-1 産業の振興と雇用の創出	戦略の柱・施策の方向	主要重要業績評価指標(KPI)
(1) 多様な産業構造への転換 (2) 地域資源を活かした産業の創出・集積 (3) 県内企業とのマッチング促進	静岡新産業集積クラスターの推進 企業立地促進に向けた本県の優位性の創出 新卒者等と県内企業とのマッチングの促進	クラスター事業化件数 181件 など 企業立地件数 累計500件 など 県外人材の正規雇用者数 700人 など
2-2 女性や健康な高齢者が活躍する社会の実現	女性の登用促進 中高年齢層が活躍できる地域づくり 中高年齢層における持続的成長	行政及び企業における指導的地位に占める女性の割合 30% など シルバークリニック人材センター地域活動参加人数 6,140人 など 成長産業分野の職業訓練による人材育成数 1,200人 など

3-1 移住・定住の促進	戦略の柱・施策の方向	主要重要業績評価指標(KPI)
(1) 移住・定住の促進 (2) ライフスタイルの変化への的確な対応提示	相談・受入態勢の整備 静岡県ならではの魅力的なライフスタイルの提示	相談窓口を利用した移住者数 累計1,000人 など 静岡県の多様なライフスタイルに魅力を感じる首都圏在住者の割合 66% など
3-2 交流の拡大	世界の拡大 外国人観光客や留学生の呼び込み 外国人観光客の来訪滞在・周遊の促進	観光交流者数 1億7,000万人 など 外国人延べ宿泊者数 120万人 など
3-3 魅力ある教育環境の整備	多様な学習機会の提供 大学間及び大学・地域連携連携体制の充実	社会体験活動を実施している学校の割合 100% など 大学の教育内容に満足していると答える大学生の割合 85%以上 など
3-4 健康づくりの推進	県民の健康づくりの推進	自立高齢者の割合 90% など

4-1 社会総がかりでの次世代育成の促進	社会総がかりでの次世代育成の促進	男女がともにいきいき働くことができる職場づくりの促進 仕事と子育ての両立支援に取り組む企業の割合 60% など
4-2 夢を持ち安心して家庭を築ける環境整備	若者の就業支援	希望とおり結婚して子育てが出来る環境の整備 平均初婚年齢 男性31.0歳以下、女性29.1歳以下 など 希望とおり結婚して子育てが出来る環境の整備 若者の就業支援
4-3 希望出生数をかなえる環境整備	妊娠・出産のための健康づくりと正しい知識の普及 周産期医療体制の確保	妊娠・出産のための健康づくりと正しい知識の普及 周産期医療体制の確保
4-4 子育て支援の充実	待機児童ゼロの実現 多様な保育サービスの実現 子育てが社会的に評価される仕組みの構築	待機児童ゼロの市町数 33市町 など 延長保育の受入施設数 500か所 など 子育てが社会的に評価される仕組みの構築 ふじさんこ広域連携隊の参加団体数 1,300団体 など

5-1 地域社会の活性化	地域包括ケアの形成 地域の国際化 効果的・持続可能なまちづくり	地域包括ケアの総合的な推進 地域の国際化の推進 コンパクトなまちづくりの推進
5-2 行政運営の効率化・最適化と連携の推進	既存の自治体の枠組を超えた対応 市町や民間との連携・協力の推進	設置する広域連合数 1件以上 など 市町・県・民間による連携の実現件数 5件 など